

諏訪市四賀ソーラー事業（仮称）環境影響評価方法書 に係る住民意見の概要

1 住民意見募集の概要

(1) 意見募集期間

平成 28 年 1 月 20 日（水）～平成 28 年 3 月 4 日（金）

(2) 意見提出件数

115 件（110 人（団体））

2 主な意見

【事業計画】

- 事業計画地の河川が流れ込む横河川は、従来から氾濫を繰り返してきた。そうした前提の下、降雨確率の想定の妥当性、調整池容量の妥当性を明らかにすべき。
- 河川に盛土をする計画について、安全性、生態系の観点から影響を明らかにすること。
- 手作業による除草が実行可能であることを、詳細な計画の提示等により明らかにすべき。
- 工事用車両の通行ルートは、通学路などになっておりルート変更、通行方法などを検討すべき。
- 再生可能エネルギーの普及などの観点から事業に賛成する。

【水質、水象】

- 大規模な森林伐採により、水源として利用されている「大清水」などの湧水、地下水への影響が想定されることから、調査地点を追加すべき。

【動物、植物、生態系】

- 事業計画地では、ヤマネなどの生息が確認されていることから、調査、環境保全措置の検討に当たって特に注意をすること。

【景観】

- 杖突峠などの視認可能と思われる場所を調査地点に追加すべき。

【文化財】

- 事業計画予定地はジャコッパラ遺跡群の真上に位置することから、文化財の発掘調査、保全について慎重に対応すること。

3 参考

4 月 22 日（金）に開催する技術委員会において、住民意見に対する事業者見解を付した資料を提出予定。